

北九州市新成長戦略の見直しについて

- 1 北九州市新成長戦略改訂版（素案）の概要 …… 資料1のとおり
- 2 北九州市新成長戦略改訂版（素案） …… 資料2のとおり

北九州市新成長戦略改訂版（素案）の概要

※朱書きが現行戦略からの加筆・修正部分

5つの方向性とリーディングプロジェクト

方向性Ⅰ 地域企業が元気に活動し続ける環境整備

- (1) 地域企業のビジネス展開を推進する組織横断的な体制の整備
- (2) 中小・小規模企業の競争力向上
 - 中小企業の経営支援 ○地域商業の活性化
 - 中小・小規模企業振興の一層の充実
 - ベンチャー企業等の創業促進
- (3) 地元製品・サービスの利活用の推進
- (4) 地元企業の高度化・新製品開発支援
 - 研究開発・事業化支援 ○学術・研究基盤の推進
 - インダストリー4.0などIoTに関する対応の強化
- (5) 地域活性化のための人材育成の強化
 - 地元大学生の地域産業への理解促進と定着
- (6) 充実した物流基盤を活用した物流振興
 - 北九州空港の強みを活かした航空貨物の拠点化
 - 東九州自動車道の開通に伴う物流拠点化促進
- (7) 多様な価値観に呼応した働き方支援
 - 小規模経営者の相談窓口充実

方向性Ⅱ 高付加価値ものづくりクラスターの形成

- (1) 次世代自動車産業拠点の形成
 - 次世代自動車（EV、FCV、電気バス等）の工場立地
 - 環境配慮型部品の供給基地の形成
 - 自動運転・安全運転関連技術の開発推進
 - 北部九州自動車産業アジア先進拠点プロジェクトの推進
- (2) 我が国をリードするロボット産業拠点の形成
 - 産業用ロボットの導入支援による市場拡大
 - ロボット技術の開発、実証
 - 介護ロボットの導入支援
 - ロボット産業を支える人材の育成
- (3) 豊富な実績等を活かした環境産業拠点の形成
 - 次世代資源循環型産業拠点の形成
 - 環境配慮型製品・環境関連サービスの集積
 - 水素や風力などエネルギー関連産業の集積

<その他の主要施策>

- 素材・部材産業 ○航空機産業 ○立地環境の整備

方向性Ⅲ 国内潜在需要に対応したサービス産業の振興

- (1) 高齢者を中心とした健康・生活支援ビジネスの推進
 - 高齢者の健康増進・長寿産業の振興
 - シニア向けビジネスの創出・育成
 - 生活の質を支える生活支援ビジネスの振興
 - (2) にぎわいづくりによる集客交流産業の拡充
 - 産業観光、近代化産業遺産、環境観光資源等を活用した集客促進
 - インバウンド対策の充実
 - 都心集客アクションプランの推進
 - 街なかのにぎわいづくり及び中心市街地活性化
 - 空き家を活用したビジネスモデルの構築
 - 6次産業化の推進及び食品ビジネス支援による食の産業化促進
 - (3) サービス産業の高付加価値化の推進及び情報通信産業の集積
 - サービス産業の集積促進及び高付加価値化の推進
 - SNSの活用等によるサービス産業の生産性向上や販路拡大
 - 北九州の特性を活かした情報通信関連産業拠点の形成
 - 情報コンテンツ産業及び情報サービス産業の創出・育成
 - (4) 介護・福祉・子育て支援産業の拡充
 - 介護・福祉・子育て支援産業の推進
 - 介護ロボットの導入支援（再掲）
- <その他の主要施策>
- サービス産業に対する総合的な支援
 - 農林水産業の安定供給の確保に向けた生産基盤の整備や担い手の育成
 - 農林水産業のさらなるビジネス化の推進
 - 北九州空港を核とした集客・航空関連産業の充実

方向性Ⅳ グローバル需要を取り込む海外ビジネス拠点の形成

- (1) アジアに貢献する都市インフラビジネスの展開
 - アジア低炭素化センターを核とした都市インフラビジネスの推進
 - (2) 海外工場のサポート拠点の形成
 - 市内工場のマザー工場化の推進
 - 海外工場のサポート拠点化の推進
 - (3) 北九州発ブランドの海外ビジネス支援
 - 中小製造業の海外ビジネス支援
 - 飲食、小売、介護、サービス業の海外ビジネス支援
- <その他の主要施策>
- ブリッジ人材の育成・確保 ○海外とのネットワークの強化
 - 海外ビジネスをしやすい環境の整備

方向性Ⅴ 地域エネルギー拠点の形成

- (1) 省エネルギー（ネガワット）の推進
 - 省エネ施策の推進
 - スマートコミュニティの推進
 - 市域全体へのスマート化の促進
 - 省エネルギー、スマートコミュニティの国内、海外ビジネス展開
- (2) 再生可能エネルギー・基幹エネルギーの創出拠点の形成
 - 再生可能エネルギーの立地促進
 - 基幹エネルギーの立地促進
 - 再生可能エネルギー産業の総合拠点形成の推進
 - 再生可能エネルギーの普及支援
 - 送電網強化
- (3) 安定・安価で賢いエネルギー網の構築
 - 安心して産業活動ができるようなエネルギー基盤の創出
 - 最先端の産業コンビナートの構築
 - 広域貢献するエネルギー網の環境整備
- (4) 水素エネルギーの推進
 - 水素供給拠点の形成
 - 水素エネルギーの実用化に向けたプロジェクトの推進

雇用創出に向けて

- 若年者の就業意識の啓発や能力開発・就職活動への支援
- 女性が活躍する産業都市づくりの推進
- 能力や意欲を生かした中高年齢者や障害者の就業促進

<雇用機会の創出>

- ・付加価値の高い産業の振興により、質の高い雇用を創出する
- ・雇用吸収力の高い産業の振興により、多くの雇用を創出する
- ・市民の個々の生活スタイルに合わせた多様な雇用機会を創出する

など

※ 成果目標の「新たな雇用創出 2万人」に関しては、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の目標年次に合わせている。

目標像

新たな技術と豊かな生活を創り出すアジアの先端産業都市

成果目標

・新たな雇用創出	・市民所得	・市内総生産
2万人	45万円	4兆円
(H27)	(H31)	(H32)
(H31)	(H32)	(H32)
年度)	年度)	年度)

北九州市新成長戦略改訂版（素案）

第8 5つの方向性とリーディングプロジェクト

本戦略に基づいた施策を推進する上で、5つの方向性と、その方向性ごとの「リーディングプロジェクト」を定め、重点的に取り組みます。

方向性 I 地域企業が元気に活動し続ける環境整備

本市を取り巻く地域経済においても、大企業の国内拠点をめぐる地域間競争、中小企業の競争力向上などの課題が顕在化しており、地域企業が元気に活動し続ける環境整備は最も重要な課題です。北九州市中小企業振興条例を踏まえ、中小・小規模企業への支援に一層力を注ぐとともに、大企業も含めた地域企業への徹底した支援を行います。

（1）地域企業のビジネス展開を推進する組織横断的な体制の整備

地域企業が本市で元気に産業活動が行えるように、日頃から企業との情報交換を密にするとともに、市役所全体として推進体制を築き、その環境整備に努めます。

（2）中小・小規模企業の競争力向上

中小・小規模企業の経営力の強化を図るため、経営安定化のための相談業務や融資、経営基盤強化に向けた人材育成、競争力強化に向けた販路開拓、技術開発などの支援施策の充実を図ります。

また、中小企業団体や有識者等との意見交換や個別企業へのヒアリングなどを通じて、中小・小規模企業が抱える課題の把握に努め、国、福岡県、中小企業団体など関係機関とも連携を強めながら、中小・小規模企業振興策を積極的に実施します。

（3）地元製品・サービスの利活用の推進

市民に地元の製品やサービスに誇りを感じてもらい、使ってもらうことが重要です。そのため、地域企業の認知度を高め、本市で生産された製品やサービスなどが、市民、地域企業、行政などで利活用されるような取り組みを進めていきます。

（4）地元企業の高度化・新製品開発支援

環境・エネルギー、素材・部材など本市が強みを持つ分野について、地域企業のニーズと大学・研究機関が保有する研究成果とのマッチングを行うなど、産学官連携による新事業展開、新産業創出を図ります。

さらに、インダストリー4.0などIoTに関する政府や国内外の産業界の動向を把握し、情報提供などの支援を行います。

また、アジアを中心とした大学・研究機関との連携強化や最先端の研究開発環境の整備などを通じた、世界的な競争力のある研究開発基盤の形成を図ります。

(5) 地域活性化のための人材育成の強化

中小企業の人材育成はもとより、高い研究開発能力を持ち、語学力・コミュニケーション能力に優れたグローバル人材を育成し、定着を図るとともに、北九州マイスターなど、熟練技能・技術者から若年者へものづくり技能・技術の継承を促進します。

また、地元大学、産業界、行政が連携し、地元大学生の地域産業への理解促進と定着を図ります。

(6) 充実した物流基盤を活用した物流振興

本市のアジアに近い地理的優位性や、充実した国内ネットワークを活かし、多頻度・定時性・高速性に着目した輸送サービスの展開を推進します。

さらに、東九州自動車道の宮崎市までの開通や北九州空港の強みを活かし、国際競争力のある物流拠点都市を目指します。

(7) 多様な価値観に呼応した働き方支援

従来にない働き方を望む学生、自由な働き方を求める女性、起業家など、異なる価値観のもと、多様なライフスタイルや働き方を求める学生や社会人に対して、スタートアップネットワークの会などを通じて、相談の受付やアドバイスなどを行っていきます。

方向性Ⅱ 地域企業の成長と新たな企業立地による高付加価値

ものづくりクラスターの形成

地球温暖化をはじめとする環境問題、生産年齢人口の減少と高齢化の進展、ものづくりを支える資源の枯渇や希少資源の確保など、ものづくり産業を取り巻く課題は山積しています。こうした課題をチャンスと捉え、環境配慮のものづくりや生産性向上、高齢化社会対応の製品づくり、次世代資源循環システム創出など、本市の強みを生かした高付加価値ものづくりクラスターの形成を図ります。

(1) 次世代自動車産業拠点の形成

○次世代自動車（EV、FCV、電気バス等）の工場立地

アジアとの近接性など本市の物流拠点としての強みを活かしながら、完成車メーカーと連携し、特区制度や国の財政支援等を活用した取り組みを行うことで、次世代自動車（EV、FCV、電気バス等）の工場立地を図るとともに、関連産業を集積させます。

○環境配慮型部品の供給基地の形成

環境配慮型部品に関する新技術開発を推進し、軽量化や電子化等による高付加価値化や新規参入を図るとともに、関連企業の誘致等により、軽量素材、電子部品、蓄電池、燃料電池、モーターといった次世代及び環境対応自動車向け部品の供給基地形成を目指します。さらに、その過程で磨かれる技術の延長線上には、航空機産業への参入も視野に入れていきます。

○自動運転・安全運転関連技術の開発推進

北九州学術研究都市3大学で構成する「自動運転・安全運転支援総合研究センター」と関連産業との連携を進め、人工知能を活用した自動運転技術の開発及び実証に取り組むとともに、研究開発機能の集積を図ります。

○北部九州自動車産業アジア先進拠点プロジェクトの推進

次世代自動車を含む自動車産業の振興には、本市だけではなく、福岡県全体で取り組むことが重要です。そこで、北部九州自動車産業アジア先進拠点プロジェクトを福岡県など関係機関とともに推進し、完成車メーカーの国内生産拠点の北部九州シフトや地元調達率向上に向け、1次部品メーカーの誘致や地元部品メーカーの技術力向上に取り組めます。

(2) 我が国をリードするロボット産業拠点の形成

○産業用ロボットの導入支援による市場拡大

中小製造業や物流、食品等の新たな分野において、産業用ロボットの導入支援に積極的に関わり、地域企業の生産性向上、省エネ・省資源に寄与します。

導入支援においては、専門家による導入相談や実践的な操作教育に関わり、ロボットの用途拡大と市場拡大を目指します。

○ロボット技術の開発、実証

中小製造業が抱える課題を解決する新たな産業用ロボットの実現に向けた研究開発に関わり、同時に、少子高齢化、生産年齢人口減少に対応するため、介護、インフラ点検等の幅広いサービス分野において、ロボットの開発支援を行います。

また、開発技術の実証にあたっては、必要な規制改革の推進等にも関わります。

○介護ロボットの導入支援

国家戦略特区の指定を受け、先進的介護・高齢者活躍拠点の形成に向け、介護ロボットの開発などにより、介護分野を含め高齢者が活躍できる環境整備を推進します。

○ロボット産業を支える人材の育成

ロボット普及社会の将来を担う若年者のロボット人材育成に積極的に関わります。

また、企業や大学等から求められる実践的な技術者の育成に関わり、製造業の生産工程にロボット技術を組み込んでいく「システムインテグレータ」の育成を図ります。

(3) 豊富な実績等を活かした環境産業拠点の形成

○次世代資源循環型産業拠点の形成

世界有数の都市鉱山である我が国のレアメタル、貴金属の再資源化を促進するため、北九州エコタウンを基盤として、小型電子機器、リチウムイオン電池、太陽電池のリユース・リサイクルなどの次世代資源リサイクル拠点の形成を図ります。

また、既存環境関連技術の高度化やリサイクル原料調達の海外展開等により、アジアの次世代資源循環型拠点を目指します。

○環境配慮型製品・環境関連サービスの集積

省エネルギー化、省資源化、長寿命化などの環境配慮型製品や、それを支える素材・部材などの環境ものづくり産業の集積を図るとともに、エネルギーマネジメント、環境メンテナンス、環境情報などのサービス業を育成します。

○水素や風力などエネルギー関連産業の集積

水素ステーションの立地促進や関連産業の集積、洋上風力発電などの拠点形成を目指します。

また、グリーンエネルギーポートひびき事業の実現に向けた風力発電関連産業の総合拠点の形成を図ります。

方向性Ⅲ 国内潜在需要に対応したサービス産業の振興

我が国は、高齢化社会の進展や人口減少社会によるにぎわい・活力の衰退に直面しています。こうした課題には、新たなニーズ、潜在需要といったものが必ず存在しています。本市は、高齢化が進む大都市として、こうした潜在需要に対応した新たなサービス産業を振興するとともに、構築したビジネスモデルを国内や近い将来同様の課題が顕在化するアジアを含めた海外へ展開します。

(1) 高齢者を中心とした健康・生活支援ビジネスの推進

○高齢者の健康増進・長寿産業の振興

地域企業、大学、医療・福祉機関、行政等の連携により、医療・福祉関連分野での課題・ニーズの共有化を図るとともに、新たなサービスの提供や製品の開発に取り組み、健康増進・長寿産業の振興を図ります。

高齢化率の高い大都市として、高齢者の健康づくり、福祉、見守り等の分野で高齢者ニーズに対応した汎用性の高いビジネスモデルを構築し、国内外に発信します。

○シニア向けビジネスの創出・育成

趣味やレジャーなど、消費意欲の高い健康で元気な高齢者をターゲットとした製品やサービスの開発などシニア向けビジネスの振興を図ります。

○生活の質を支える生活支援ビジネスの振興

高齢者や障害者をはじめ、全ての生活者が質の高い生活を送ることができるよう、健康、医療・福祉、教育・文化、住宅などの市民生活の質の向上に貢献するビジネスを振興します。

(2) にぎわいづくりによる集客交流産業の拡充

○産業観光、近代化産業遺産、環境観光資源等を活用した集客促進

産業都市の特性を活かした産業観光や工場夜景鑑賞ツアー、世界文化遺産をはじめとした近代化産業遺産、ユネスコ無形文化遺産への登録を目指す戸畑祇園大山笠行事、小倉城や門司港レトロなどを活用した観光客誘致を進めます。

豊かな自然や響灘ビオトープ、エコタウンなど、多様な環境観光資源を組み合わせた環境修学旅行やエコツアーなどにより、国内外からの集客及び関連産業の振興を図ります。

○インバウンド対策の充実

東アジア諸国からの観光客を誘致するため、旅行社へのセールス・国際観光展への出展などの海外プロモーション活動や、Wi-Fiの整備、免税店の周知・拡大などの外国人の受入環境の整備を行います。

○都心集客アクションプランの推進

JR小倉駅新幹線口エリアにおいて年間300万人を集客することで、都心全体のにぎわいを創出します。

また、都心部における若者のにぎわいづくりを進めるため、あるあるCityなどと連携したポップカルチャー（漫画・アニメなど大衆文化）の拠点づくりを図ります。

○街なかのにぎわいづくり及び中心市街地活性化

街なかのオフィスビルや空き店舗へのテナント誘致を図るとともに、古いオフィスビル、店舗等のリノベーションを行い、誰もが起業しやすい環境を整えることで、雇用の拡大を図ります。このような取り組みを通じて、街なかの魅力を高め、にぎわいの創出を図ります。

あわせて、北九州市商店街の活性化に関する条例の趣旨を踏まえ、商店街への支援に努めることを通じて、中心市街地の集客・交流拠点の形成を図ります。

○空き家を活用したビジネスモデルの構築

関門海峡の素晴らしい景色を堪能できる門司港や、斜面地などの空き家をリノベーションし、週末のシェアハウス、喫茶店、雑貨屋などとして活用できるビジネスモデルを不動産会社や関係事業者とともに構築し、市内外への展開を図ります。

○6次産業化の推進及び食品ビジネス支援による食の産業化促進

農林水産業者と加工場・流通をつなぎ、地元産品を活用した新商品開発を進め、ICTを活用した商品PRを通じて販売促進を図ります。

地元食材を地域で消費する地産地消の取り組みを強化するとともに、地元農林水産物の高付加価値化を図るため、ブランド力向上に努めます。

(3) サービス産業の高付加価値化の推進及び情報通信産業の集積

○サービス産業の集積促進及び高付加価値化の推進

雇用吸収力の高いサービス産業について、健康、福祉、情報など、重点分野を定め、関連事業所の誘致や人材育成等により集積を図ります。

製造業のまちとして培われた生産管理技術の応用等によりサービス産業の高付加価値化を推進します。

○SNSの活用等によるサービス産業の生産性向上や販路拡大

製造業に比べ、生産性が低いと言われるサービス産業について、SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）を活用した効果的な情報発信や顧客とのコミュニケーションを踏まえた店作りなどを支援し、市内サービス産業の付加価値の向上や収益性の強化に取り組みます。

○北九州の特性を活かした情報通信関連産業拠点の形成

地震などの災害が少ないという本市の特性を活かしたディザスター・リカバリー拠点化を目指す取り組みや、拡張性の高いデータセンター、充実したICTサービス、高度ICT人材を育成する取り組みなどを通じて、情報・通信関連産業の集積を図ります。

○情報コンテンツ産業及び情報サービス産業の創出・育成

付加価値の高い情報コンテンツ産業の立地、創出、育成を図ります。

また、北九州 e-PORT 構想2.0に基づき、ICTを活用した新サービスの創出を支援することにより情報サービス産業の創出及び育成を図ります。

(4) 介護・福祉・子育て支援産業の拡充

○介護・福祉・子育て支援産業の推進

介護・障害福祉・子育てなどの分野で、ビジネス化、サービスの充実を図ります。

○介護ロボットの導入支援（再掲）

国家戦略特区の指定を受け、先進的介護・高齢者活躍拠点の形成に向け、介護ロボットの開発などにより、介護分野を含め高齢者が活躍できる環境整備を推進します。

方向性Ⅳ 北九州の強みを活かし、アジアなどのグローバル需要を取り込む
海外ビジネス拠点の形成

我が国では、少子高齢化や人口減少に伴う市場規模の縮小が懸念されています。このような中、地域企業が生産規模の維持・拡大を図る上で、成長を続けるアジアを始め、海外展開により収益をあげるという視点は重要です。

このような観点から、本市が培ってきた海外ネットワークを生かした都市インフラビジネスの展開、生産技術やメンテナンス技術といった本市に強みのある分野での海外展開、海外展開の足がかりやノウハウ、人材が不足している市内中小企業への多様な支援を行います。

(1) アジアに貢献する都市インフラビジネスの展開

○アジア低炭素化センターを核とした都市インフラビジネスの推進

都市環境インフラ（廃棄物、エネルギー、上下水、環境保全など）に係る技術や行政ノウハウ等を体系的に整理した「北九州モデル」を活用して、アジア低炭素化センターを拠点に、アジア地域への都市インフラビジネスにつなげます。

あわせて、相手国・地域のニーズに応じた人材育成や社会システムづくりなど、ソフト部門にもきめ細やかな対応を行うことで、総合的に都市力の向上に貢献します。

(2) 海外工場のサポート拠点の形成

○市内工場のマザー工場化の推進

地域企業が製造工程の海外移転を行う際には、本市産業の高度化、雇用の維持を図るため、海外工場の生産・販売を支援するマザー工場として、市内事業所のマーケティング機能、研究開発機能及び人材育成機能の強化を図ります。

また、国際戦略総合特区や北九州市物流拠点化戦略基本方針などにより、アジアとの貿易のシームレス化を進め、市内マザー工場と海外工場における製品や部品の輸出入など国際水平分業に対応した物流振興を図ります。

○海外工場のサポート拠点化の推進 ～アジアものづくりサポート構想～

本市の産業の強みの一つである工場・設備のオペレーション、メンテナンスなどの技術・知見・ノウハウを活かし、海外工場の生産技術サポート拠点として、省エネ・生産効率化に優れた設備、技術などをジェトロ北九州等の関係機関と連携して工業化の著しい新興国等に輸出するとともに、プラントメンテナンス分野での新たなビジネスモデルの構築を図ります。

(3) 北九州発ブランドの海外ビジネス支援

○中小製造業の海外ビジネス支援

企業の成長のために海外市場を目指した展開を望みながら情報、人材、資金等が不足している中小製造業に対し、マーケティング、商談機会の創出など、海外ビジネスの支援を行います。あわせて、参入検討企業の拡大を図ります。

○飲食、小売、介護、サービス業の海外ビジネス支援

アジア諸国の生活・所得水準が向上することをチャンスと捉え、市内の飲食・小売・サービス業の海外展開に対し、JETRO北九州など関係機関と連携して情報提供、事業化の支援を行います。

また、少子高齢化が進む中国・韓国などアジア地域への介護・福祉システムの輸出を目指します。

方向性 V 地域の成長を支えるエネルギーミックスの構築による
地域エネルギー拠点の形成

東日本大震災を境に我が国を取り巻くエネルギー環境は一変しており、エネルギー供給の不安定化や単価の上昇など産業にとっては厳しい状況となっています。これまで、国がエネルギー政策を考えるものでしたが、地域自身が地域エネルギー政策を考える時代になったと言っても過言ではありません。本市は、環境・エネルギーの分野で我が国のトップランナーとして先導的な取り組みを進めてきており、地域の成長を支える地域エネルギー拠点の形成とともに、それを活用した最先端モデルの構築を図ります。

(1) 省エネルギー（ネガワット）の推進

○省エネ施策の推進

地域企業の省エネルギーを徹底することにより、エネルギーに強い企業体質への転換を図るとともに、エネルギー効率強化による生産性向上を通じて競争力を高めます。

○スマートコミュニティの推進

地域の多様なエネルギー（電気・水素・熱）を地域で賢く使いこなす複合的エネルギーマネジメントが行われ、ICTを活用したサービスが展開されるスマートコミュニティを推進します。

○市域全体へのスマート化の促進

東田地区でのスマートコミュニティの成果を、城野地区へ展開し、社会実装を進めます。

また、多くのエネルギーがあり、多様な産業が集積している響灘地区において、響灘スマートインダストリ（産業版スマートグリッド）の実現を目指します。

○省エネルギー、スマートコミュニティの国内、海外ビジネス展開

省エネ対策、スマートコミュニティ事業で培った実績のもとに、地域企業による国内、アジアを中心とする海外へのビジネス展開を積極的に推進します。

(2) 再生可能エネルギー・基幹エネルギーの創出拠点の形成

○再生可能エネルギーの立地促進

太陽光、風力、**バイオマス**等再生可能エネルギーの市内への最大限の導入を図るとともに、それに伴う地域企業の新エネルギービジネスの展開を促進します。

○基幹エネルギーの立地促進

再生可能エネルギーの大量導入を下支えするために、また、電力不足の解消等エネルギーの安定供給のためには、基幹エネルギーも不可欠です。高効率石炭火力発電やLNG火力発電、コジェネ等の可能性を視野に入れ、立地促進につなげます。

○再生可能エネルギー産業の**総合拠点形成**の推進

北九州市太陽光発電普及促進協議会を通じた太陽光発電関連**産業の推進**や、**グリーンエネルギーポートひびき事業の実現に向けた風力発電関連産業の総合拠点の形成**や、**バイオマス燃料集配基地及びバイオマス発電所の建設、未利用エネルギーを活用した新たな産業集積モデルの構築**など、響灘地区におけるエネルギー産業の**総合拠点形成を推進**します。

○再生可能エネルギーの普及支援

導入相談窓口の活用や補助金制度などにより、再生可能エネルギーの普及支援を行います。

○**送電網強化**

送電網強化を関係者に働きかけ発電ポテンシャルを最大限に活かすよう取り組みます。

(3) 安定・安価で賢いエネルギー網の構築

○安心して産業活動ができるようなエネルギー基盤の創出

省エネルギー・再生可能エネルギー・基幹エネルギーをうまく組み合わせ、事業活動が将来にわたって安心して行えるエネルギー基盤を構築します。

○地域のエネルギーインフラを最大限活用する最先端の産業コンビナートの構築

産業集積エリアにおいて電力・熱などのエネルギーインフラを最大限活用する最先端の産業エネルギーコンビナートの構築を目指します。

また、企業の余熱等の調査を進め、電力・熱などの企業間相互融通の可能性を検討します。

○広域貢献するエネルギー網の環境整備

釜山広域市とのエネルギー協約など、市域のみならず国際連携など広域貢献も視野に入れ、関係団体との関係を構築します。

(4) 水素エネルギーの推進

○水素供給拠点の形成

水素ステーションの市内への立地を促進するとともに、関連産業の集積を図ります。

○水素エネルギーの実用化に向けたプロジェクトの推進

水素エネルギーについて、再生可能エネルギーからの製造、パイプラインによる供給、純水素燃料電池を活用した電気・熱の利用とエネルギーマネジメントなど、実用化を目指した技術開発実証プロジェクトを推進し、地域企業の新規事業展開や市外企業の立地促進を図ります。

第9 雇用創出に向けて

◎総論

市民が安心して暮らすための一番の基本は、安定した雇用の実現であり、

- ・産業振興による本市経済の活性化を通じて、若者、女性、高齢者、障害者を含め多くの市民が働くことができる雇用機会の創出
- ・求職者一人ひとりに対するきめ細かな雇用のマッチングの両方に取り組んでいきます。

◎雇用機会創出における視点

雇用機会の創出にあたっては、

- ・付加価値の高い産業の振興により、質の高い雇用を創出すること
- ・雇用吸収力の高い産業の振興により、多くの雇用を創出すること
- ・市民の個々の生活スタイルに合わせた多様な雇用機会を創出することに取り組めます。

◎雇用のマッチングにおける視点

求職者と求人企業とのマッチングにあたっては、若者や女性、高齢者等、求職者の年代や経験、能力等に応じた就業に必要な能力の向上、スキル取得への支援や就労体験を盛り込んだマッチングなど、求職者及び企業ニーズへのきめ細やかな対応を行います。

特に学生をはじめとした若者の地元就職を進める上で、地域企業の魅力・情報を積極的に発信していきます。

あわせて、地域企業の障害者雇用の更なる充実を図ります。

主な施策

◎若年者の就業意識の啓発や能力開発・就職活動への支援

◎女性が活躍する産業都市づくりの推進

◎能力や意欲を生かした中高年齢者や障害者の就業促進